

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム かざはや

(ユニット名) 同上

記入者(管理者)

氏名 西元 静香

評価完了日

平成19年11月15日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月27日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105578		
法人名	医療法人がざはやくリニック		
事業所名	グループホームがざはやく		
所在地	松山市中西内4 6 9番地		(電話) 089-960-2570
管理者	西元 静香		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年11月28日	評価確定日	平成20年1月27日

【情報提供票より】 (平成19年11月15日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年1月16日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8人	常勤	8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 円
または1日当たり 円			
(3)利用者の概要 (平成19年11月15日現在)			
利用者人数	9名	男性 3名	女性 6名
要介護1	4名	要介護2	1名
要介護3	2名	要介護4	0名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 89.3 歳	最低 81 歳	最高 97 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>利用者個々の希望に合わせ、外出できるよう支援されており、近くの神社参りや散歩、買い物等に出かけておられる。利用者の会話がきっかけで遊覧船に乗り、鹿島見物に出かけられた。</p> <p>共用空間は、つい立てやテーブルの配置を工夫されていた。壁面の飾りは利用者と一緒に作り、相談しながら飾られている。居間の畳にはホットカーペットが敷かれており、横になっている方もおられた。</p> <p>食事の献立は、利用者の希望を聞きながら立てておられる。ご自分のエプロンをされ、食事の準備をされている方もうかがえた。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、共用空間の環境作りや地域に出ていく機会を増やす等の取り組みをされた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・管理者は、自己評価項目のケアに関する項目について職員に聞き取り、まとめられた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・運営推進会議時、民生委員の方より、近くの神社祭礼への提案があり、演芸大会では、職員が踊りを披露された。又、普段の食事を出席者に試食していただき、感想をうかがう等されている。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族の来訪時等、日常の様子を伝え、意見等を聞いておられる。行事時には、ご家族にも案内をされ、ご家族同士で交流できるような機会も作っておられる。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・地域行事や神社の掃除等に積極的に参加されている。地域の老人会は、事業所の行事を年間行事に採り入れ、交流されている。又、保育園児と交流するような機会も作られている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
					地域の一員として、どんどん此方から出向き笑顔の輪を広げる。
			(外部評価)		
			事業所では、「安心と信頼」をもとに「自分らしく、穏やかな暮らし、皆と一緒に楽しい毎日を過ごせるよう」理念を掲げておられる。管理者は、地域の中でどんな事業所であれば良いのかということについて、職員とともに話し合っておられる。		事業所は、「地域の中の一軒のお家」として、何を目指していくかということを話し合い、さらに、理念を作りあげていくことを検討されていた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を壁に張り出し、ミーティング時などにも話している。		
			(外部評価)		
			管理者は、ミーティングや日々のケアの中で理念について、職員に話されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			地域行事に参加したり、奉仕作業に参加する等し地域の中の1軒としてホームを捉えてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ホームでのボランティア演奏会、舞踊会他の行事をご案内しおいで頂き、一緒にお茶を飲んで頂く等工夫し、少しでも身近に感じて頂き足を運んで頂き易くなるよう取組んでいる。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の奉仕活動、地域のお祭りへの参加や、ホームの行事へもご案内し参加頂いている。老人会では、ホームの行事への参加を年間行事の一環として位置づけて頂いた。また、近隣の農家の方々が季節ごとのお野菜等気軽に届けて下さる様になった。		
			(外部評価) 地域行事や神社の掃除等に積極的に参加されている。地域の老人会は、事業所の行事を年間行事に採り入れ、交流されている。又、保育園児と交流するような機会も作られている。		事業所では、さらに「まもるくんの家」として子供たちの見守りや地域の方の在宅ケアの相談窓口として、地域への協力ができないかということを考えておられ、働きかけていきたいと話しておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 救命救急処置法講習会等へのご案内他、運営推進会議等で、ご家庭での困り事等ご相談頂ければ、提案やご助言が出来る旨お話している。高齢者だけでなく、小さなお子様を守る事が出来るのではと、「まもるくんの家」をお受けしたいと申し出ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の意味や必要性の説明を折りに触れ話している。また、スタッフから質問があればその都度答えている。評価の結果を参考により良いホームになるようスタッフ全員で取組んでいる。		
			(外部評価) 管理者は、自己評価項目のケアに関する項目について職員に聞き取り、まとめられた。前回の評価結果を受けて、共用空間の環境作りや地域に出ていく機会を増やす等の取り組みをされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			利用者の方にも交代で参加して頂き、思いを拝聴していると共に、ホームでの行事や、サービス等も毎回ご報告しており、その際頂いたご意見は尊重している。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、民生委員の方より、近くの神社祭礼への提案があり、演芸大会では、職員が踊りを披露された。又、普段の食事を出席者に試食していただき、感想をうかがう等されている。		さらに、運営推進会議を地域の人達と交流会する機会と捉え、今後、メンバーを少しずつ増やしていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			(外部評価)		
			介護保険制度やケア等について、市の担当者に相談されている。又、運営推進会議時、市の職員より他の事業所の事例等も紹介していただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現利用者の方に、成年後見制度を利用している方がおいでる。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			現在、虐待行為等は見られない。また、虐待がいけない事等はミーティング時に話している。		高齢者虐待防止関連法については、詳しい勉強会はまだ行っていない。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の際には、重要事項説明書等で充分にお話した上で、不安な点や、ご要望等傾聴している。また、退所等の解約に関しては、利用者や、家族の方が充分納得出来る様誠意を持って話しすると共に、納得できるまでお待ちしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時に、苦情申し立ての自由や、申し立て窓口の説明、関係機関のご案内をしている。現在の所、苦情申し立てはない。利用者の方のご希望、ご要望は意見として取り入れ反映させている。		機能訓練の用具の購入、柔軟体操等の習慣化等。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 請求書送付時に近況報告や、利用料お支払い時にお話ししたり、お小遣い帳と残金の照合等(2ヶ月毎)して頂くと共に、個人の状態に応じて、お電話等で随時ご報告させていただいている。		
			(外部評価) 「かざはや通信」を年4回発行し、事業所の行事や外出時の様子を伝えたり、新人職員の紹介をされている。又、個別にお手紙で、ご本人の外出時の様子や職員が日々の中で気付いたこと等を伝えておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時に、苦情申し立ての自由や、申し立て窓口の説明、関係機関のご案内をしている。現在の所、苦情申し立てはない。		
			(外部評価) ご家族の来訪時等、日常の様子を伝え、意見を聞いておられる。行事時には、ご家族にも案内をされ、ご家族同士で交流できるような機会も作っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) スタッフは運営者にも自由に意見を言える環境であり、運営者も理解し反映して下さる。また、管理者も平等に意見を聞く等の努力は惜しまない。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状態（興奮や不穏時）によって、勤務時間の変更や超勤による人員確保（手当あり）また、夏場（6月～9月末）はサマータイムとして早出が7時～4時半までとし30分は超勤手当が支給される。その他、柔軟に対応出来る様、スタッフにも日頃から話している。		夏場は、利用者さんが起き出すのが早い為。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 個々の状況や、心理面の把握に努めて下さり、働き易い様にと常に気に掛けて下さっている。離職の際も打聞案や引き止める等し、続けて貰えるよう心を配っておられる。 (外部評価) 管理者は、新人職員の夜勤に付き添われたり、不安がないか聞き取り、アドバイス等もされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内外への研修の参加は自由にさせて下さる。また、資格試験の費用なども事業者で持って下さる等、資質向上に力を入れて下さる。 (外部評価) 事業所では、職員個々の力量に応じて、研修に参加できるよう取り組まれている。研修後は報告書を作成し、ミーティング時等に話し合いをされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			北条でのサービス調整会議への参加や、地域のグループホームの会への参加等行えている。また、グループホーム間で疑問など、パソコンや電話などで自由に意見をも求める事ができる。		
			(外部評価)		
			地区のグループホーム連絡会で管理者は、同業者同士で情報交換をされている。ホーム便りを交換するようなこともある。		今後、事業所間でさらに交流を深めていきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			常に、利用者さんの次にスタッフが働き易い様にと、気を配って下さり、相談などにも気軽に乘って下さる。また、必要物品等も随時購入して下さる。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			ご自信も、書物を読まれたり勉強をなさっておられ、スタッフの努力や実績は把握しておられ、声を掛けて下さる。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			必ず、ご本人と面接しお話を伺う様にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族の置かれている状況、困り事を傾聴し受け止めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況や、必要に応じたサービスの提案やご紹介を行っている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)		入所に対しては、ご本人の了解を頂くなどの工夫はしているが、お試し利用等はないが、入所されたら一日でも早く馴染んで頂ける様、ご本人のお好きな事、お好きな物等を家族の方に伺うなどし、なるべくホームへ入る前の生活習慣を崩さない様な気配りは行っている。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の訴えに耳を傾け、約束したことは必ず守ることで信頼関係を築いておられる。又、ご家族にも来訪していただけるよう働きかけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ご本人の得意な分野を利用したり、出来る事はどんどん手伝って頂いたり、共に食べ良く笑い楽しく過ごして頂きながら、時には知恵袋を発揮して頂くなどしている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者から調理方法について教えていただいたり、洗濯物のたたみ方等を教えていただくこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様の状況を把握し、その都度ご相談したりご本人との関係作りを援助するなどしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者の方の代弁者になったり、壁になったりしながらも、家族の方の状況や思いを理解して頂ける様、利用者の方にも働きかけより良い関係が築けるよう努力している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 入所前にしていた事(教会への礼拝やミサ等)入所後も続けていただいている。また、ご近所だった方の訪問時は、一緒にお茶をして頂けるなどの気配りをして		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の好き嫌いも把握し、席の配置やトラブルの回避に努めたり、利用者間の関わりも円滑に行えるよう適宜スタッフも介入している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所となった場合でも、適宜状況伺いのお電話をしたり、いつでもご相談に乗れるので気軽にご連絡下さる様、退所時にお声をかけている。		入院先や、入所先にも適宜ご面会に伺う等し、関係を繋いで先方から相談し易くなる様は配慮している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			ご本人に、どうしたいか?どう在りたいかをお伺いし、思いを受け止める様努力している。		
			(外部評価)		
			センター方式の様式を採り入れ、ご本人の思いの把握に努めておられる。管理者は、職員個々に利用者との関わりの中で気付いたことについて聞き取られたり、ミーティングで話し合っておられる。		管理者は、日々の記録のあり方を工夫したいと考えておられ、又、アセスメントシートの充実から、介護計画に反映できるよう取り組んでいきたいと考えておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入所前にしていた事(教会への礼拝やミサ等)入所後も続けていただいている。また、生活習慣(嗜好品など)を極端に変える事の無い様に気を配っている。他、入所前に使っていた物などの持ち込みも自由にしていただいている。		嗜好品の自由(牛乳、炭酸飲料、コーヒー等)。・個人で新聞を取る。・家具、調度品の持ち込み。希望の食事(パン食・粥食など)。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			個々に把握し、その日の状態によってもケアの方向を変えるなど個々に応じて行っている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人の思い、家族の方の思いを伺いプランの素案を作りスタッフに持ちかけ意見を求め計画を立てている。		
			(外部評価)		
			ご本人ご家族の希望を聞き取り、職員の日々の気付き等も採り入れて、介護計画を作成されている。ご本人の思いに沿った支援となるよう配慮されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			個々の状況や、身体の状態に応じて見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			介護計画は、4ヶ月ごとに見直しするようになっていいる。入居間もない頃は、1ヶ月で見直しされ、状態変化時には随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々、個別記録を残し活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			グループホームと同じ建物内に、居宅支援事業所とデイサービスがあり交流を持っている。		
			(外部評価)		
			美容室へ出かける際には、職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	外出徘徊傾向の利用者の方がおられる時は、派出所や地域の住人、民生委員、区長さん等に働きかけ協力をお願いしていた。		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			現在は、行っていないが必要に応じて柔軟に対応している。
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			現在、特に行っていないが、必要時は適宜行える。
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、家族の方の意向をお聞きし、適切に安心して医療が受けられるよう援助している。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	経営母体のクリニック Dr に、随時相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) クリニックへ受診したり、ホームでの行事にお招きしたりして利用者の方やスタッフとも顔馴染みになって頂き、気軽に相談や援助をして頂ける。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		現在まで、適応事例はないが必要に応じて行っていく。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者の方の、変化に応じ家族の方とも随時お話し合いし、Drへも随時報告し適切な医療やケアが行えるよう配慮している。 (外部評価) 看取り時の事業所の指針については、現在、検討中となっている。事業所では入居時に看取りの希望をうかがっておられ、利用者の状態に応じてその都度、医師とご家族が話し合いをされている。母体法人クリニックとの連携により、事業所で看取りを行なった事例もある。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		終末期まで看取れるよう援助していく方向であるが、具体的な検討会や準備は行っていないものの、クリニックNSとの連携は構築中である。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族の事情にも配慮しつつ、ご本人のメンタルケアに努めている。ホームより他へ移られた場合は適宜訪問し、急に関係が遮断しない様に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 個人を尊重した声掛けが行えている。また、記録は他利用者に見られないようにし、申し送り等も利用者から少し離れた場所で行い、状況に応じては名前を読み上げないなどの配慮をしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 日常から、利用者の方の思いを引き出す工夫をしたり、個々に応じてお話し説明し自己決定を促している。必要時は、筆談なども行う。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 可能な限り、利用者の方のペースに合わせている。(起床時間は自由で朝食も6時～9時と幅を持たせているなど。)また、ご本人がしたい事を可能な限り対応している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>訪問時、ゆっくり起床された方は、シフォンケーキとお茶で朝食を取っておられた。昼食は、ご本人のペースでゆっくりと食べておられ、職員は世間話等をしながら、ゆったりとした雰囲気ですサポートされていた。食後の過ごし方も、利用者の希望を聞きながら支援されていた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 毎日の衣服の選択や、理、美容も希望に応じている。特に、行き付けとか希望がなければスタッフにより散髪等の援助も行っている。(ご本人、家族に了解をもらっている)		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 誕生日には、ご本人の好みの物を用意したり、献立を立てる時に食べたい物を伺う等している。また、出来る事はお手伝い頂くなどしている。 (外部評価) 献立は、利用者の希望を聞きながら立てておられる。ご自分のエプロンをされ、食事の準備をされている方もうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好品は(医療的に禁を除いて)自由にさせていただいている。(炭酸飲料、養命酒、毎朝の牛乳など)喫煙希望者は現在居ないが、希望があれば吸っていただける。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 可能な限り、オムツ外しに取り組んでいる。現在、完全に自立できた方もおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			日曜日以外は、入浴できる。個々に応じ毎日入浴する人、2日置きに入浴する人がいる。特に希望がない方でも、1日置きには入浴できている。時間帯の範囲ではあるが、ご本人の希望に合わせ順番も配慮している。		
			(外部評価)		
			事業所では、浴室にボディーシャワー浴用の設備があり、使用しておられる方もある。毎日入浴をされる方もいる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中も希望時や適宜の休息を援助し、日中の活動によって夜間良眠出来る様援助している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			個々に合わせ、喫茶店への同行や、散歩、買い物など援助している。また、レクや外出行事等の楽しみを提供している。		
			(外部評価)		
			「何回やっても難しいな」と話されながらパズルをされる方や、雑誌や新聞を読まれる方もおられた。関係者の送迎で礼拝やミサに出かけられる方がおられ、時には、タクシーを利用し、教会に出かけておられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			数名の方は、小額をご自分で管理している。ホームでお預かりしている方でも希望時は自由に使う事が出来る。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			気候の良い日には、近くの神社へお参りに出かけたり、近隣へ鯉やお花を観に出かける。また、食材の買出し等にも一緒に行って頂く。		
			(外部評価)		
			利用者個々の希望に合わせ、外出できるよう支援されており、近くの神社参りや散歩、買い物等に出かけておられる。利用者の会話がきっかけで遊覧船に乗り、鹿島見物に出かけられた。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			喫茶店への同行(月2回個別ケアとして)。季節の花見や、催し物(さつき展、菊花展など)や、動物園などにお弁当を持って出かけたり、外食をしたりしている。(ホーム行事として)		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時には、スタッフルームの電話を使用して頂き、必要に応じて、代弁や拝聴をし意志の疎通が図れるようにしている。手紙は、代筆やポストへの投函などを援助している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			御本人のお部屋へお茶や椅子をお運びし、水入らずでゆっくりと話しをして頂いたり、人数によっては相談室を利用して頂く等している。(相談室には、ゆったりと過ごして頂ける様にソファ、テレビなどを置いてある。)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は行っていない。また、スタッフ全員が身体拘束禁止及び、それによる弊害を理解できている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 遅出退勤の9時～早出出勤の7時半までの施錠のみで、日中は鍵をかけないように指導しているし、徹底できている。気候の良い日には、玄関の扉も開けている。		
			(外部評価) 気ままに外出される方がおられる場合には、玄関にセンサーマットを設置するようなこともある。職員は、利用者がどこで過ごしているかということ把握できるよう努めておられる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 定期的に巡回や、訪室するなどしている。状態によっては随時訪室している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬品や、洗剤などは倉庫保管し、台所の包丁などはプラケースに入れた上で手の届かない戸棚にしまう様にしている。		はさみや爪切りなど個人で管理されている方も数名おられるが、特別な取り組みはしていない。針などはホームのを使用して頂き、見守り回収を徹底している。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 個々に応じ、歩行時の見守りや付き添いを行ったり、食事の時にはスタッフも同じテーブルに着くなど。無断外出傾向のある方では、地域の方にお顔を覚えて頂き連絡して頂ける様に、日頃から地域行事などにも参加している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ホーム内研修や、消防署の救急救命士による講習会を全員に受講して貰い修了書をいただいている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議等に図り、地域の避難場所を教えていただいたり。緊急時連絡網に組み入れて頂くなどしている。 (外部評価) 運営推進会議時、利用者の状態についても説明をされ、地域の方達にも理解していただいている。又、災害時、事業所が避難場所として協力できることもお伝えされている。消防署の協力のもと、夜間を想定し、通報や初期消火訓練を実施されている。		利用者一人ひとりの避難方法についてマニュアルを作っておられる。事業所は、2階にあり、夜間の対応については、少々不安な点もあると話されていた。今後も、訓練や話し合いを重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 高齢化によるADLの低下に伴い起こりうる危険性をスタッフ間で話し合うと共に、家族の方にもご連絡し抑圧のない生活の中での万が一の可能性についても説明を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝バイタルチェックを行い、日常の体温、血圧を把握するようにし、異常時には速やかに気付くようにしている。また、発見時には、速やかにケアマネやDrに連絡し支持を仰ぐよう習慣化できている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個別の服薬情報を表にししたり、薬情に目を通すなど気を付けている。スタッフも薬の変化には細心の注意を払っており、クリニック等での袋間違い等にも迅速に対応できている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給に努め、2, 3日に1回はヨーグルトのおやつにししたり、朝食につけたりし日々の体操などで身体を動かす工夫もしなるべく自然に排便を促すよう努力している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアが習慣化できている。状態に応じてはハミングッド等の口腔ケア商品を利用するなどして、口腔内の清潔を保つよう心掛けている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に応じて食形態の工夫や、同じ食材が1日の内であまり重ならない様に献立のチェックをしたり、折に触れて水分を摂っていただく工夫をし、必要に応じては、水分チェック表をつけている。(毎食時には摂取量を記録している) (外部評価) 利用者個々の飲みたい物を飲めるよう、聞き取りながら支援されている。外出後等にはスポーツドリンクやみかん等もすすめておられる。ご本人の体調や好み等に合わせ、主食をごはんかおかゆを選べるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症に対する、マニュアルを作成して、スタッフに配布している。インフルエンザでは予防接種を受けていただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 毎日、台所の清掃を行い、まな板、包丁、の洗淨熱風乾燥を実施している。また、お手拭は毎回ハイター消毒、布巾、台拭きも毎日ハイター消毒し洗濯している。流し内、生ゴミ受けも每晚ハイター消毒行っている。ゴミも毎日捨てるように習慣化できている。また、調理前の手洗いを徹底している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関先にお花を植えたり、鉢植えを置いたり、椅子をおいたりして工夫している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 季節感がわかる様に壁紙やカレンダーに、季節ごとの飾りつけを行ったり、時期に応じたてすや簾、扇風機、ホットカーペットやオイルヒーター、加湿器など快適に過ごして頂ける様気を配っている。</p> <p>(外部評価) 共用空間は、つい立てやテーブルの配置を工夫されていた。壁面の飾りは利用者と一緒に作り、相談しながら飾られている。居間の畳にはホットカーペットが敷かれており、横になっている方もおられた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 適所にソファを置いたり、スクリーンを配置したり畳コーナーにはホットカーペットを敷くなどしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			ベッド、タンスの位置はご本人さんの希望の位置にし使い勝手の良いようにして頂いている。また、使い慣れた調度品の持込なども自由に行って頂いている。また、寝具は持ち込みとし使い慣れた布団で休めるように配慮している。		
			(外部評価)		
			ご自宅で使い慣れたものを自由に持ち込んでいただけるよう、働きかけておられる。居室入り口にはのれんが掛けられており、ご本人の写真が掲示されていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			適宜窓を開け空気の入替えを行うと共に、冷暖房も点けっ放しせず、小まめに消したり点けたりしている。後は上着等で調節するようにしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			建物内は全てバリアフリーになっており、自由に移動できている。また、階下へはエレベーターを利用して降りる事ができる。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			必要以上に手を出さないように心掛け、きちんと説明し納得して頂ける様働き掛けている。なるべく自分の力で行って頂く方向で、声掛け援助や見守りを怠らないようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダには花を植えたプランターを置く等しているが、洗濯物を干す位しか活用できていない。1階玄関周りには、花壇があり季節の鉢植えや椅子なども置き和んで過ごせる工夫をしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	新規入所の方もいたり、コロコロと気分が変わったりして十分把握しきれていない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	不穏の利用者がおられたり、スタッフの人数の少ない時もあり毎日とはいかない。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご本人のペースにお任せしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	よく笑われ、冗談等も飛び出すようになった。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望に応じ対応できている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	木・土はDr 往診があり、他は状態に応じDr に上申している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	臨機応変に対応できている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時等にはFaともお話するように気を付けており、何かあれば何でも気軽にご相談くださるよう声かけしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	行事への参加や、お野菜を持って来て下さる等

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域住民との交流（地域行事への参加、奉仕作業への参加等）の機会もでき散歩等ですれ違っても先方から声をかけてくださるようになる。又、気候のあいさつや雑談等地元住民と同じように接して下さる。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑いが断えない職場となっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんより、いつも感謝のお言葉をいただく。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	「ホームに任せている」という思いもあり、遠慮もあるのではと思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

急変時にはDr との連絡が迅速にでき、対応が早い。
 外食・外出等の費用はホーム側で持ち、実費負担はしていただかない。（食費の規定額のみ頂いている）
 地元の方のボランティアとか訪問が多い方だと思う。